

令和 3 年度  
全国学力・学習状況調査  
中学校 国語  
振り返りプリント

3 年 組 番

名前

## もくじ

令和3年度 全国学力・学習状況調査（国語）		振り返りプリント
問題番号	問題の内容	
1	一 話合いでの司会の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	
	二 話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	<input type="checkbox"/> 2019年 全国学力調査 大問2の類題1 69
	三 参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	<input type="checkbox"/> 2019年 全国学力調査 大問2の類題2 70
2	一 意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	<input type="checkbox"/> 2019年 全国学力調査 大問3の類題1 71
	二 意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	<input type="checkbox"/> 2019年 全国学力調査 大問3の類題2 72
3	一 「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	
3	二 「喝采してやる」と「とった」のそれぞれにおいて、誰の動作なのかを選択する。	<input type="checkbox"/> 2018年 全国学力調査（B問題）大問3の類題1 65
3	三 「反対の結果を出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す	<input type="checkbox"/> 2018年 全国学力調査（B問題）大問3の類題2 66
3	四 「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	
4	一 ② 漢字を読む（絆ばして）	
4	一 ① 漢字を読む（詳細）	
4	二 「隨時」の意味として適切なものを選択する	
4	三 「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	<input type="checkbox"/> ドリルプリント文法 敬語・表現と文法（敬語）言語23
4	四 事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く	

# 69

## 大問2の類題1

2019年 全国学力調査

名前

年組番

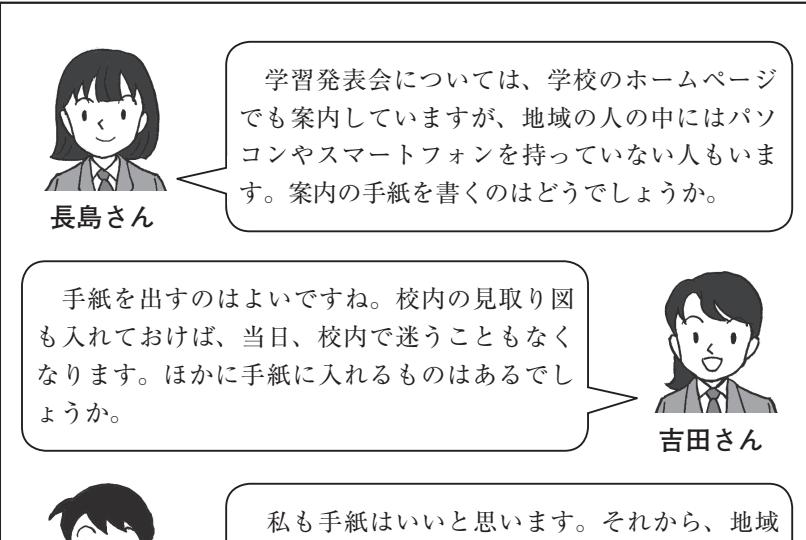
中学・国語

南中学校の学習発表会実行委員会の長島さんたちは、「地域とつながりのある学習発表会」という議題で話し合っています。次は【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。(場面①から場面③は連続した場面です。) ※なお、「学習発表会」は「文化祭」などと呼ばれることがあります。

## 【話し合いの一部】

場面①

**場面②**



長島さん

吉田さん

増川さん

学習発表会については、学校のホームページでも案内していますが、地域の人の中にはパソコンやスマートフォンを持っていない人もいます。案内の手紙を書くのはどうでしょうか。

手紙を出すのはよいですね。校内の見取り図も入れておけば、当日、校内で迷うことなくなります。ほかに手紙に入れるものはあるでしょうか。

私も手紙はいいと思います。それから、地域の掲示板にポスターをはるはどうですか。美術部に頼んで描いてもらいましょうか。

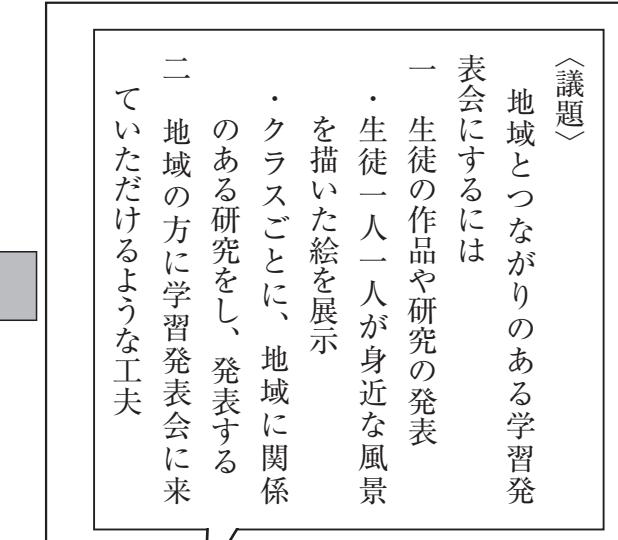
そうですね、もしかしたら、美術部以外にも描きたい人がいるかもしれません。時間はあまりありませんが、募集してみましょうか。

ポスターには日時と、どのような展示があるかを紹介しておくと、興味がわきやすいと思います。

たしかにそうですね。ポスターは早急に募集をかけましょう。ところで、先ほど話題になつたことで、まだどうするか決まっていないことがあります。

ア

**場面③**



長島さん

吉田さん

増川さん

長島さん

（議題）

地域とつながりのある学習発表会にするには

- 一 生徒の作品や研究の発表
- ・ 生徒一人一人が身近な風景を描いた絵を展示
- ・ クラスごとに、地域に関係のある研究をし、発表する
- 二 地域の方に学習発表会に来ていただけるような工夫

**長島さんの発言**

学習発表会の「生徒の作品や研究の発表」については、この二つに決定しましょう。次は、「地域の方に学習発表会に来ていただけるような工夫」について話し合いましょう。

一 場面①の長島さんの発言は、どのような役割を持っていますか。その役割として最も適切なもの を、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 具体的な工夫についての話し合いになるような話題へと導いていく役割。

2 話し合いの中で出てきた問題点をまとめ、これからの話し合いに役立てる役割。

3 決まったことを示すことで、話し合いがもう少しで終わることを知らせる役割。

4 話し合いの中で最も大切な話題は何かを示し、皆の注目を集める役割。

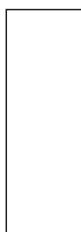
二 場面③の——線部「そうですね、もしかしたら、美術部以外にも描きたい人がいるかもしれません。時間はあまりありませんが、募集してみましょうか。」という吉田さんの発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 増川さんの発言内容の問題点を指摘し、よい解決策がないことを示している。

2 増川さんの発言に意見を付け足しつつ、長島さんに同意を求めている。

3 増川さんの提案に対して賛成の気持ちを示しつつ、対応策を提示している。

4 増川さんの提案について問題点があることを告げ、反対の気持ちを示している。



三 場面③の **ア** で長島さんは、「先ほど話題になつたことで、まだどうするか決まつていないこと」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考えを述べますか。次の条件**1**と条件**2**にしたがって、実際に話すように書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときには、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1** 話し合いの流れをふまえて、「先ほど話題になつたことで、まだどうするか決まつていないこと」を具体的に書くこと。
- 条件2** 条件**1**で示した内容の解決案を具体的に書くこと。

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--

# 70

## 大問2の類題2

2019年 全国学力調査

名前

年組番

中学・国語

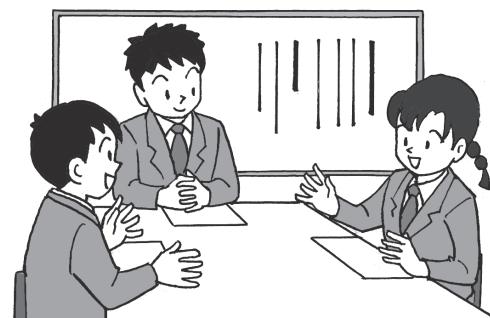
中部中学校の遠足では、学校から十キロメートル離れた自然公園まで徒歩で行くことが恒例となっています。遠足の前には、遠足の班長の鳥居さんたちが安全に遠足を実施するため話し合いを行います。次は【話し合いの一部】です。これを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。（場面①から場面③は連続した場面です。）

## 【話し合いの一部】場面①

## 〈議題〉

安全に遠足を実施するためには

- 一 休憩場所をどこにするか  
(二時間程度で到着する場所)
- 二 体調不良の人が出たときの対応
- 三 地域の人に迷惑をかけないようにするための注意点



## 鳥居さんの発言

休憩場所については、例年通り、坂道公園とします。次は、遠足中に「体調不良の人が出たときの対応」について考えましょう。

場面②

場面③



去年は、保健委員が救急箱を持っていくのを忘れて困ったということがありました。班長も念のため、ばんそうこうなどを持っていたほうがよいのではないかでしょうか。



たしか、近所の人が通りかかって助けてくれたという話でしたね。できれば、そのように地域の人の迷惑になることは避けたいと思います。



そうですね、地域の人に迷惑をかけないためには、準備を十分にして、油断しないことだと思います。それから、「疲れた」とか「遠い」とか大声を出す生徒が例年いるので、そのあたりも今年は気をつけたいです。



どのようなことが迷惑になる可能性があるかを書いたリストを全員に配りましょう。特に班長はそれをよく読んでおくことにしましょう。



わかりました。ところで、先ほど提案されたことはどうしますか。

ア

一 場面①の鳥居さんの発言は、どのような意図を持ったものですか。その意図として最も適切なもの を、次の1から4までのなかから一つ選びなさい。

1 議題の内容をわかりやすく説明し、話し合いを円滑に進める意図。

2 話し合って決まったことをまとめ、話題を次に進める意図。

3 話し合いの中で問題となつたことを取り上げ、話題の中心にしようという意図。

4 これから話し合いが始まるなどを告げ、皆の意識を集中させる意図。

二 場面③の——線部「どのようなことが迷惑になる可能性があるかを書いたリストを全員に配りまし ょう。」という小森さんの発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの

中から一つ選びなさい。

1 南田さんの発言内容に理解を示しつつ、反対の意志を表明している。

2 南田さんの発言の内容をまとめつつ、賛成であることを表明している。

3 南田さんの発言から問題点を見つけ出し、話題として提示している。

4 南田さんの発言で出された問題に対して、解決につながる意見を述べている。



三 場面③の□アで鳥居さんは、「結論が出ないままになつている話題」について自分の考えを述べようとしています。あなたなら、どのような考え方を述べますか。次の条件1と条件2にしたがつて、実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときには、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話し合いの流れをふまえて、「結論が出ないままになつてている話題」とは何かわかるように書くこと。

条件2 条件1で示した「結論が出ないままになつてている話題」に対する自分の考え方を書くこと。

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--

## 71 大問3の類題1

2019年 全国学力調査

名 前

年 組 番

中学・国語

多田さんは、「地域の商店とネットショッピング」というテーマで意見文を書いています。次は多田さんが書いた【意見文の下書き】と、あとから地域の商店街で見つけた【ポスター】です。これらを読んで、あとの間に答えなさい。

## 【意見文の下書き】

私の家では、母が子どものころから買い物をしてきた商店で手土産を買う習慣がある。その店では、去年のお中元に山田さんはそうめんを贈ったとか、林さんには調味料セットを贈ったとか、すべて記録されていて、私の母が出かけていくと、すぐにその記録を出してくれる。店長が出て来て、山田さんはつくだ煮の詰め合わせを持つていくのがいいのではないか、などと助言してくれることもある。私は母のとなりで、そういうやりとりを見ているだけだが、地元の店は温かみがあつていいなと思った。

一方、私は去年くらいから、インターネットでゲームや本を買うことが増えてきた。地元の店のように売り切れることが少なく、発売されてすぐに手に入ることが多いからだ。そのせいか、近所の書店が、二か月前に、一軒、閉店した。おもちゃを売る店も、地域で一軒だけになってしまっている。(1)

私は、この町が大好きだ。だから、商店街は活気があるのがよいと思うし、お店もたくさんあるといいと思う。

この町が、これからも元気であり続けるためには、どうしたらいいだろう。

そのヒントは、最初に述べた、商店と私の母との姿にあると、私は考える。

インターネットの店では、私が過去に買った商品のリストは出てくるが、商品を誰のために買ったのか、商品をどのように使ったかまではわからない。

しかし地元の店であれば、これまでのつきあいから、商品を贈る相手がどのような人か、よりふさわしい商品があるか、といったことを相談できたり、助言をもらうことができたりする。また、自分のために買うものについて、「新しくこんなのが入ったよ」などと教えてもらえることが多い。より気持ちや役割に合った商品を買えるということは、無駄な買い物が少なくなる、ということではないだろうか。

もしかすると、書店やおもちゃを売っている店でも、店頭で予約をしたり、店員の方に買いたい物を知らせておいたりすれば、温かい付き合いができるのかもしれない。

これからは、そのような地元の商店のよいところを利用して、もっと地域の商店とつながりを持つようにしたい。

## 【ボスター】



## △△商店街の便利情報

- ・商品の予約、取り寄せ……ゲームなど人気の商品でも、あらかじめ取り置きしておくことが可能な店舗がたくさんあります。
- ・本の予約……発売がわかったら、○○書店に、なるべく早めにお知らせください。発売日に受け取ることもできます。
- ・各種ご相談……お祝い事、法事などに必要なもののお見積もりを、店の垣根をこえて承っております。

△△商店街

- 多田さんは、読み手にとつてよりわかりやすい文章にするために、【意見文の下書き】の(①)のところに、言葉を書き加えることにしました。書き加える言葉として、最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 このような不便さがあるため、地元の商店よりインターネットの店を使うようになつてきた。
- 2 こうしてみると、一年中、商品を買うことができるインターネットの店の便利さがわかる。
- 3 ネットショッピングで購入する人が増えたため、利用客が減ったのが原因だそうだ。
- 4 インターネットの店は、商店街の商店に比べて、どのくらいの数が閉店しているのだろうか。

- 二 多田さんは、【意見文の下書き】の□の部分に、【ポスター】から得た情報を用いて、地元の商店との付き合い方を今後どのように変えていけるかを書き加えようと考えています。あなたなら、どのような文章を書き加えますか。次の書き出しに続けて、【ポスター】を見ていない人にもわかるよう書きなさい。
- なお、読み返して文章を直したいときには、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

書き出し

また、商店街のポスターには、地元の商店にも便利な活用方法があることが記されている。例えば、

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

また、商店街のポスターには、地元の商店にも便利な活用方法があることが記されている。例えば、

--	--	--	--	--	--	--	--

# 72 大問3の類題2

2019年 全国学力調査

名 前

年

組

中学・国語  
番

水川さんは、「地域の書店とインターネット上の書店」というテーマで意見文を書いています。次は水川さんが書いた【意見文の下書き】と、あとから地域でアンケートをとった結果を示した【アンケートの結果】です。これらを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

## 【意見文の下書き】

私の兄は、インターネット上の書店をよく利用する。その理由は、欲しい本がいつでも手に入るからだという。特に大学に入つてからは、授業の資料として読まなければいけない本が増え、実際の店舗に足を運ぶより、インターネットで探して買った方が効率がよいらしい。実際の店舗では、すべての本がそろわない場合があるが、インターネット上の書店では、複数の書店について調べることができるため、買い物が一度で済むことも理由に挙げていた。

こうしてみると、インターネット上の書店はとても便利で、私も利用してみたいという気持ちが高まる。

一方で、兄は、授業と関係のない本をあまり読まなくなつたように思う。その理由を考えてみたところ、インターネット上の書店で本を探しているせいではないか、と思うようになつた。兄が本を探している様子を見ると、必要な本のタイトルを入力し、在庫がある店から買う、ということを繰り返しているようである。画面には必要な本の情報しか提供されていない。(①)

かつて、兄はよく地元の書店に通つていた。もちろん、買いたい本があるから書店に行くのだが、実際に本棚を見ていて、タイトルなどから、「これはよさそうだ」と思った本を購入していたようなのだ。確かに、私も参考書を買いに行つたつむりが、これまで読んだこともない作家の小説を手に取つている場合がある。

インターネット上の書店では、必要な本以外の本を見ることが少ないので、そのような本の買ひ方をしなくなつたのだろう。

必要な本だけ買うような本の買ひ方にについて、私は少しさびしく感じるときがある。本には出会いがあると思うからだ。これまで読もうと思ったことのない本でも、その本と出会つた時の気持ちや状況から興味を持ち、読むことがある。そのようにして読んだ本が、それまで言い表せなかつた気持ちを表現する言葉を教えてくれたり、味わつたことのない気持ちを伝えてくれたりしてきたと思う。

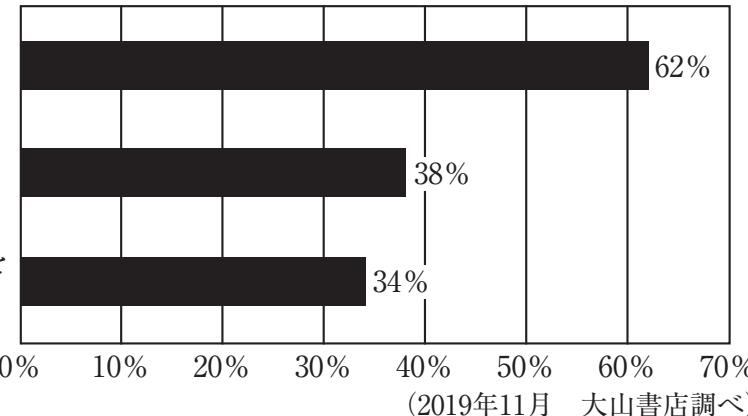
(②)

今度、兄とじつくり話す時間があつたら、実際の書店で本を買うことについて、私の意見を伝えたいと思う。そして、今度は兄と一緒に、地元の書店に行つてみたいと思う。

## [アンケートの結果]

## 実際に書店を利用するときのよさとは何ですか。

(回答者数280人・複数回答可)



— 水川さんは、読み手にとつてよりわかりやすい文章にするために、【意見文の下書き】の(①)のところに、言葉を書き加えることにしました。書き加える言葉として、最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 このように、インターネット上の書店は効率がよいのである。
- 2 そのため、授業の資料とは関係のない本を目にのする機会が減ってしまったのだ。
- 3 実際の書店では関係のない本が目につくのに、そうでないのが不思議な感じだ。
- 4 複数の書店について一度に検索できるのは、とても便利なことだと思う。

二 水川さんは、【意見文の下書き】の(②)の部分に、【アンケートの結果】から得た情報を用いて、実際の書店のよいところを書き加えようと考えています。あなたなら、どのような文章を書き加えますか。次の書き出しに続けて、【アンケートの結果】を見ていない人にもわかるように書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときには、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

### 書き出し

また、実際の書店を利用する人に対して行つたアンケートでは、実際の書店のよい点について、

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(例) また、実際の書店を利用する人に対して行つたアンケートでは、実際の書店のよい点について、**目当ての本以外も見ることができると答えた人が六十二パーセント**いるほか、店員さんと一緒に探すことができると答えた人が三十八パーセント、店員さんの生の感想を聞くことができると答えた人が三十四パーセントおり、実際の書店では、店員さんとの交流を楽しめることがわかる。

(例) また、実際の書店を利用する人に対して行つたアンケートでは、実際の書店のよい点について、書店員と一緒に本を探せたり、書店員の生の感想を聞けたりするという、本を買うだけではない楽しみを挙げた人だけではなく、**目当ての本以外も見ことができると答えた人が三十四パーセント**いるほか、店員さんの生の感想を聞くことができると答えた人が三十八パーセント、店員さんの生の感想を聞くことができると答えた人が三十四パーセントおり、実際の書店では、店員さんとの交流を楽しめることがわかる。

### 〈評価例〉

- ・実際の書店のよいところが書き加えられていること。
- ・【アンケートの結果】に書かれた内容が取り上げられていること。
- A == 右の条件の両方を満たしているもの。
- B == 右の条件の片方だけ満たしているもの。
- C == 右の条件をいずれも満たしていないもの。

# 65 大問3の類題1

2018年 全国学力調査(B問題)

名 前 年 組 番 中学・国語

次の文章は、古典を現代語に訳したもので、これを読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

昔、中納言(注1)文屋和田麿(注2)という人の子孫で、余吾大夫(注3)という兵(注4)がいた。長い間、(注5)三輪の市の近くに城を築いて住んでいたが、敵に攻められて城を失い、兵士たちも多くが討たれてしまつた。余吾大夫はどうにか逃げ延びて、(注6)初瀬山(注7)という山の奥に身を潜めていた。

(注4) 笠置(注5)という山寺の岩穴に大夫が隠れていると、その岩穴の中に蜘蛛(注6)が網をかけていて、大きな蜂(注7)が引っかかるつて見つけていた。蜘蛛は網を引き寄せて、蜂を巻き殺そうとしているところである。それを見た大夫は蜂を哀れんで蜘蛛の網から外してやり、そして、蜂にこう言つた。「お前は虫であるが、命が大切であることに人と変わりはない。恩義に報いることも人と同じであろう。俺は敵に攻められて危ないところだ。お前を助けてやるが、この気持ちをよく汲み取ってくれ。」そうして大夫は蜂を放してやつた。

その夜、大夫の夢の中に、柿色(注8)水干袴(注9)を着た男が現れた。「私は昼間あなたに助けられた蜂でございます。あなたが私におつしやつたことは、はつきりと覚えております。私は蜂というつまらない身に生まれてきてしまつますが、恩義に報いないことがあります。私の申し上げるところにしてください。あなたの敵を滅ぼすお手伝いをいたしましょう。」と言う。

それを聞いて大夫は、不思議なことだと思ひながら、「そうは言つても、どうやつて滅ぼすといふのだ。兵士たちはほとんど討ち取られてしまつて、城もなく、頼りにする者もない。戦う手段がないのだ。」と言つた。

蜂は、「二十人でも三十人でも、残つてゐる兵士たちをなんとかして集めてください。この後ろの山に、蜂の巣が四、五十ほどございます。私の仲間の蜂たちです。これを呼び集めて加勢すれば、兵士の足しになるでしょう。」と言つた。「元の城の近くに小屋を造り、瓢箪(注10)や壺(注11)、(注12)瓶子など容器をたくさん集めて置いてください。その中に私の仲間たちが隠れ、敵が来るのを待つのでおりに準備を整えた。

蜂は、戦の日を指定し、約束して消えた。

夢から覚めた大夫は、不思議で信じられないことだと思ひながらもうれしくなり、夜のうちに元の城の辺りへ行つて、隠れていた兵士たちを集め、こう言つた。「このよくな状態になつたが、最後に敵に一矢を報いて死のうと思う。」そうして、五十人ほどの兵士たちと、夢で蜂に言われたとおりに準備を整えた。

戦の朝、夜が明け始めると、山のほうから蜂が集まってきた。何百匹(注13)もの蜂が群れ、いくつものかたまりとなつて集まつてくるその様子は、おそろしく感じるほどであつた。

日が昇り、敵のところへ行つて、「ここにいるぞ。」と言つたと、敵は搜し求めた大夫たちを見て喜び、三百騎(注14)ほどの兵を率いてやつてきた。五十人ほどの大夫たちの軍勢を見ると、あまりの少數に、馬鹿(注15)にしたように突つ込んで、大夫たちを討ち取ろうと馬上から攻めてきた。

その時、小屋の中からおびただしい数の蜂が飛び出し、敵に取りついてその鋭い針で襲いかつた。目でも鼻でも、あらゆるところを針で刺された敵兵は、なすすべもなく、顔を手で覆つて騒ぐばかりである。蜂を払おうとしても、うち殺せるのはせいぜい五、六匹で、どうにもすることができない。その隙に大夫たちは悠々と駆け回り、あつという間に敵をすべて討ち取つてしまつた。こ

うして元の城に戻り、身を落ち着けることができたのであつた。  
 この戦で犠牲になつたいくらかの蜂たちのために、大夫は笠置の山にお堂を建てて死んだ蜂を埋葬し、毎年、供養をおこなつたという。

(「宇治拾遺物語」を現代語訳したものによる。)

- ――この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 余吾大夫は、蜂に襲われたために、戦で負けてしまつた。  
 2 蜂は、余吾大夫の恩に報いようとして仲間と共に戦つた。  
 3 敵は、余吾大夫が大人数で攻めてきたので警戒していた。  
 4 敵の子孫は、蜂の供養をするために法師になることにした。
- (注1) 文屋和田磨…………平安前期の朝廷に仕える臣下。  
 (注2) 三輪の市…………奈良県桜井市。  
 (注3) 初瀬山…………桜井市初瀬付近の山。  
 (注4) 笠置という山寺…………京都府相楽郡笠置町の笠置寺。  
 (注5) 水干袴…………庶民が日常的に着ていた服。  
 (注6) 瓶子…………酒を入れて注ぐのに使う器。とつくり。

- ――線部「ここにいるぞ。」とあります。これは誰の言葉ですか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 余吾大夫  
 2 蜂  
 3 三百騎ほどの兵  
 4 敵



三 この話のあらすじを同じ学級の人間に説明しようと思います。あなたならどのように説明しますか。

なお、読み返して文章を直したいときには、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。  
条件2 七十字以上、百二十字以内で書くこと。

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

# 66 大問3の類題2

2018年 全国学力調査(B問題)

名 前

年 組 番

中学・国語

次の文章は、古典を現代語に訳したもので、これを読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

昔、（注1）天竺に留志長者という、とても裕福な長者がいた。藏もたくさん持つていて裕福だったが、とてもけちで、妻子にも、いうまでもなく従者にも、物を食べさせたり服を着させたりすることができなかつた。

自分がほしいときには、人にも見せず、隠して食べていたのだが、満足するまで多くほしかつたので、妻に「飯、酒、果物などたくさんくれ。私にとりついて物惜しみさせる。（注2）慳貪の神をまつろう。」と言うと、妻は「物を惜しむ心をなくそうとするのは、よいことです。」と喜んで、いろいろに調理して、たっぷり渡した。留志長者は受け取ると、人が見ていないところに行つて、充分に食べようと思つて、器に入れ、壺に酒を入れて外に出た。

「この木の下には、からすがいるぞ。」「あちらには、すずめがいるぞ。」などと場所を選んで、人里離れた山の中の木の陰の、鳥や獸もいないところでひとりでひとりで食べていた。

たとえようもないほど楽しくて、留志長者は歌い出した。

今曠<sup>ひろ</sup>い野中

飯を食し 酒を飲み 大安樂  
猶<sup>なお</sup>毘沙門天を過ぎて 天帝釈に勝るがごとし

この歌の意味は、「今日人のいないところで一人きりで、物を食べ、酒を飲む、安樂であることは毘沙門天や帝釈天にも勝つている」というもの。

この留志長者の様子を、帝釈天はしつかりご覧になつていて。

帝釈天は、見苦しいとお思いになつたのだろうか。留志長者の姿になつて、留志長者の家にいらつしゃつて、「私は山で物惜しみする神をまつた御利益ごりやくであろうか、物惜しみの神が私から離れて、物が惜しい気持ちがなくなつた。だから、こうするぞ。」と言つて、藏を開けさせて、妻子をはじめ、従者たちやよその人々、修行中の僧にいたるまで、宝物を取り出して配つて与えた。

みんなが喜んで取り分けていたところに、本物の留志長者が帰ってきた。藏をみんな開けて、宝物も人が奪い合つてゐる。驚きあきれ、その悲しさといつたら言いようがない。

「どうしてこんなことをするのだ！」

留志長者は大声で叫んだが、自分とまったく同じ格好の人が現れてしていることなので、不思議でたまらない。「あれは何かが私の姿に化けているのだ。私こそ、本物だ。」と言うものの、聞いてくれる人もいない。

困つた留志長者は、帝に<sup>みかど</sup>なげきを訴<sup>うつた</sup>えたところ、帝は「そなたの母に聞くがよからう。」とおつしゃつた。

そこで母に聞いたところ、「人に物を与える者こそ、私の子どもでございましょう。」と言うので、どうしようもない。留志長者は、「腰<sup>こし</sup>のあたりに、ほくろがござります。それを目印にご覧になつてください。」と言うので、確かめてみると、帝釈天がそれをまねていはないはずがない。二人とも同じようにほくろがあるので、どうしようもなくて、仏のところに一人で参上することになつた。

仏の前に出ると、帝釈天はもとの姿に戻つた。

留志長者が、申し開きのしようもないと思つてはいるが、仏の力ですぐに煩惱から脱することができたので、いやしい心がなくなつて、物を惜しむ心もなくなった。

このように、帝釈天は、いつも人をお導きになつて、むやみに長者の宝を失わせようとは、どうしてお思いにならうか。慳貪の報いのために、地獄に落ちるのを哀れにお思いになつて、このようになさつたのであつて、たいへんみごとであつた。

(注1) 天竺……インド。日本や中国でインドのことを言うときに使つた言葉。

(注2) 慳貪……けち。

――この話に登場する人物についての説明として最も適切なものを、次の1から4までのなかから一つ選びなさい。

- 1 留志長者は、裕福であつたが物惜しみする気持ちが強い人だつた。
- 2 妻子は、留志長者の物惜しみする気持ちを理解し、食べ物を与えた。
- 3 帝釈天は、留志長者の宝を全部ほしいと思って留志長者の家に行つた。
- 4 仏は、留志長者が改心して宝を手放したのを氣の毒にお思いになつた。

――線部「だから、こうするぞ。」とあります。これは誰の言葉ですか。次の1から4までのなかから一つ選びなさい。

- 1 留志長者
- 2 帝釈天
- 3 物惜しみの神
- 4 帝



三 この話のあらすじをノートに書き留めておこうと思います。あなたならどのように書きますか。次

の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

せん。

条件1 話の展開を取り上げて書くこと。

条件2 七十字以上、百二十字以内で書く」と。

※左の枠は、下書きに使つてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

